

2 地域の人々の利用

豊かな自然環境の那珂川には多くの地域の人々が訪れ、釣りや水際での散策や、親水レクリエーション（水遊び）、高水敷でのスポーツ等が楽しまれている。

中流部の那須烏山市や茂木町、常陸大宮市、城里町の河川敷内にはキャンプ場が数ヶ所あり、夏になると那珂川の清流や河原では、アユ釣りを楽しむ釣り人や水遊びをする親子の姿が多く見られる。

中流部から下流部の広い河川敷には運動場や公園が整備され、地域住民のスポーツ場や憩いの場として利用されている。



図 5-25 河川敷のキャンプ場（城里町）



図 5-26 河川敷の運動場（水戸市）

那珂川本川の下流や支川の桜川沿いには、堤防上を利用したサイクリングロードや散策路が整備され、水戸市等の都市部住民の憩いの場となっている。那珂川本川の下流は良好な水質を維持していることから、水辺プラザ等は都市の中の親水空間として大いに利用されている。河口付近では広い静かな水面でジェットスキーを楽しむ人や、ボラやハゼなどの釣りを楽しむ人々で賑わっている。



図 5-27 那珂川沿いの散策路（大洗町）



図 5-28 河口付近の釣り人（大洗町）

平成 15 年度に那珂川の大臣管理区間を対象とした「河川水辺の国勢調査 河川空間利用実態調査」によると、那珂川には年間約 110 万人が訪れており、調査された全国 108 水系の中で 28 位、関東 8 水系の中で 7 位である。沿川市区町村人口から見た年間平均利用回数は約 1.8 回／人である。

那珂川では散策をする人が最も多く 33%を占め、次いで釣り (30%)、水遊び(23%)が続き、清流での自然とのふれあいや水遊びといった利用をする人が多い。また、利用場所では水際が 36%、高水敷が 38%と多く、以下、水面、堤防の順となっている (表 5-1参照)。

表 5-1 年間の河川空間利用状況

区分	項目	年間推計数 (人)	割合 (%)	利用状況の割合
利用形態	スポーツ	152,905	14	
	釣り	328,058	30	
	水遊び	252,577	23	
	散策等	373,672	33	
	合計	1,107,212	100	
利用場所	水面	187,551	17	
	水際	397,149	36	
	高水敷	428,695	38	
	堤防	99,145	9	
	合計	1,112,540	100	